

山梨に着任して早くも3カ月が経過した。最初に感じたことは神頼みである。自らのことではあるが、何と甲府駅北口から武田通りを車で北上し、

### 展望台

武田神社へ向かった。緩やかな坂道で、前方には夏の緑深き山がそびえ、窓から快晴の朝の新鮮な風を感じたからか、高い山に吸い込まれていくような神聖な感覚だった。新天地での挑戦に自分の心も澄んでいたのだろう。参拝後にお守りを買った。とお守りの入った袋には

「人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方 仇は敵なり」「信玄公は人の和こそ最大の武器であり、最大の楯であると信じ、国政を行われ、見事にその成果を挙げられたと書いてあった。

## 山梨の一人一人が主人公

水野 裕央

「人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方 仇は敵なり」というテレビ番組があった。新製品の研究開発などの難しい壁を乗り越えた裏にある、知られざるドラマを伝える番組だ。今も山梨の各現場では「プロジェクトX」が繰り広げられていると思う。番組のテーマ曲であった中島みゆきさんの「地上の星」が私の耳には聞こえてくる。一人一人が主人公になってそれぞ

この3カ月間、企業の経営者・役員、県・市町村や公的機関で重責を担う方々にお会いしたが、皆さまの心の温かき、郷土愛、当地における絆の深さを強く感じた。今でも信玄公の教えは継承されているようだ。現在、新型コロナウイルス



みずの・ひろおさん 神奈川県出身。1995年に日銀に入行。システム情報局情報システム開発課長や同局日銀ネット構築進行課長、文書局総務課長などを歴任。7月から現職。

経営者だけでなく、各現場ではさまざまな工夫が進められていると聞く。かつてプロジェクトX 挑戦者 だろ。 (日銀甲府支店店長)